

---

## 新パーソナルカラー診断とは

---

人それぞれが生まれ持った肌の色調に調和し、  
際立たせる色、お似合いになる色を導き出します。

- ① お顔の色み “黄みに寄せるか青みに寄せるか”
- ② お肌の質感 “クリアーにつややかに見せるか、ソフトにマットに見せるか”
- ③ お顔の明度 “明るくふっくらと見せるか、暗く引き締めて見せるか”
- ④ お顔全体の色み “華やかに強く見せるか、シックに弱く見せるか”

の4つの方向性からパーソナルカラーを見つけます。

これは全てのパーソナルカラーや、よく知られるフォーシーズンカラーとも共通の基本になります。  
ですから、フォーシーズンでいうなら、どれになるのかも診断させていただきますが、  
新パーソナルカラー診断では上記の4つの中から、お似合いになる決め手のポイントを  
次の4つのタイプとしてご提案させていただきます。

- ①が決め手の方は、 ベースタイプ
- ②が決め手の方は、 シャープネスタイプ
- ③が決め手の方は、 ライトネスタイプ
- ④が決め手の方は、 クロマタイプ

これが新パーソナルカラー診断の概要です。

## 新パーソナルカラー診断

### 【4D診断】

色彩理論の色の属性（色の種類・明るさ・鮮やかさ）や  
光による反射の反応に対応などから  
人それぞれが生まれつき持っている  
オリジナルの色調に調和し  
際立たせる色、お似合いになる色を  
科学的に診断いたします。



#### 色相 < step1 > お顔の色

お顔の色みを血色を増した見せ方が良いか、より白く見せた方が際立つか。  
黄みの色と青みの色にどう反応するかで、イエローベースかブルーベースか判断。  
ご自身の持つ色みに関わらず『際立たせるのはどちらの方向性か』を診断します。

#### 質感 < step2 > お顔の質感

クリアな色を清色・ソフトな色を濁色と言います。  
それぞれの肌の質感に調和するか、しないかでは印象が大きく異なります。  
お肌の質感をツヤやハリを出した見せ方か、滑らかな均一感を出した見せ方が良いか診断します。

#### 明度 < step3 > お顔の明るさ

明るさ暗さの度合いを明度と言います。明度は軽やかさ、落ち着き、  
若々しさ、大人っぽさ、キュート、シックなど様々な印象に結びつきます。  
明るめで軽やかに見せた方が良いか、暗めに引き締めて見せた方が良いかを診断します。

#### 彩度 < step4 > お顔の色の強弱

色みが強い鮮やかな色が似合うか、色みが弱い淡い色が似合うか。  
これもご自身の好き嫌いに関わらずパーソナルカラーのチェックポイントに。  
くっきり華やかに見せた方が良いか、シックに淡く見せた方が良いかを診断します。